Maidencarnation spin-off

私は誰かの被りもの

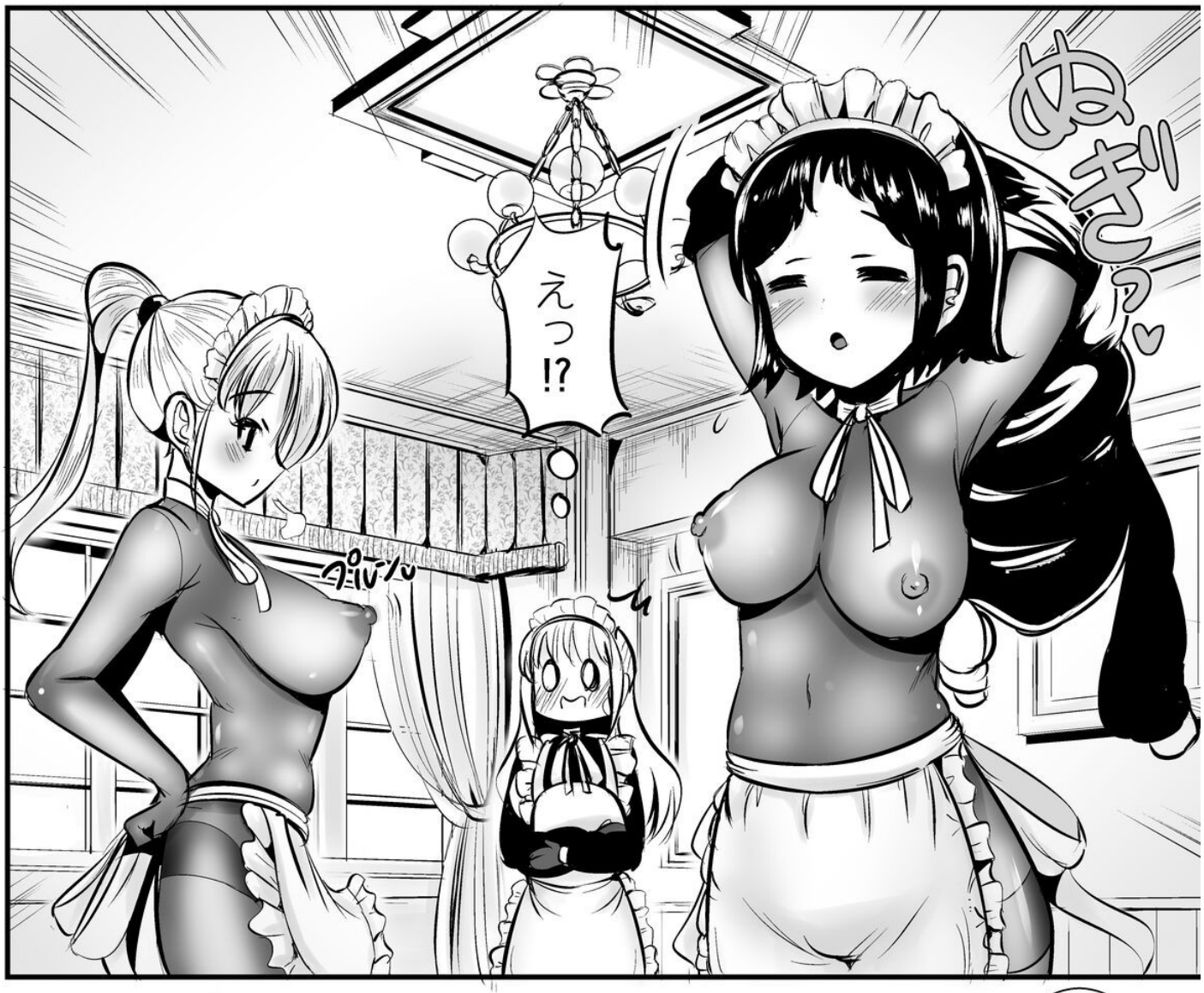


成年向
R18
カワモノ
ふたなり
男の娘
性転換

L. P. E. G.


彼女は
今日から一緒に働く
ストロベリィです
よ…よろしく
お願いします
旦那様は
現在ご多忙にて
執務室を離れられ
ませんが
この機会に
日頃行き届かぬ
部屋なども検めたいと
思います
お仕事については
プリムから
聞いてください
ペン
この屋敷は常に
人手が足りて
いません
出来るだけ早く
仕事を
覚えてくれると
助かります―
ぐっ


ゴン
ゴン
ファサッ…


ぬぎっ♡
えっ!?
ポロン


貴女も早く作業モードになってください
来客時以外はこの装いで励むようご主人様のお言いつけです
話は聞いてるはずですが…
そっ…そうでしたっ
P.Yo!!


そういえば報告書に
書かれていたかも
この支給された
ボディスーツで
思い出すべきだった
もじ…
キュッ♥
貴族特有の
奇妙な
しきたり…?
もじ…
気のせいかしら
すごく
視られてる気が


まるで
品定めされてる
ような…
うぅん…
それより
今はとにかく
ぱいん…
目立たない
ようにしないと…
あの…
ちょっと…


これストロベリィさんに…
香水です
この肌着…一週間着続ける決まりで…
ええっ…？
こんなに蒸れるのに入浴は週末のみしか認められませんから…
…どうしてそんなことを？
スッ
？
わ…
わかりません…ただ…
ヒソ…
私達の一週間分の汗や体液を吸ったタイツは洗濯もせずどこかに集められるとか…
でも…メイドによってはもっと長い間着せられたり…
カフーア
…私はもう二週間…
いつマ…
はっ
何でも無いですっ
あちょっとっ
…？
奇妙なしきたりに戸惑いつつも…


考えようによっては
好都合かも
しれない
闇に紛れる
色だから
私には
目的があった
ギィ…
生まれついての
私の身体を治す鍵—
それを稀代の研究者
として知られる
この屋敷の主人が
握っているという
ガサ…
だが彼は—
ある時期を境に
人前に姿を
表さなくなったという
故にこういった真似も
覚悟してきたのだ
手がかりが
あれば
いいけど…
ガラ
ゴン
ゴン



ポタ…

ん…

お目覚めかしら？

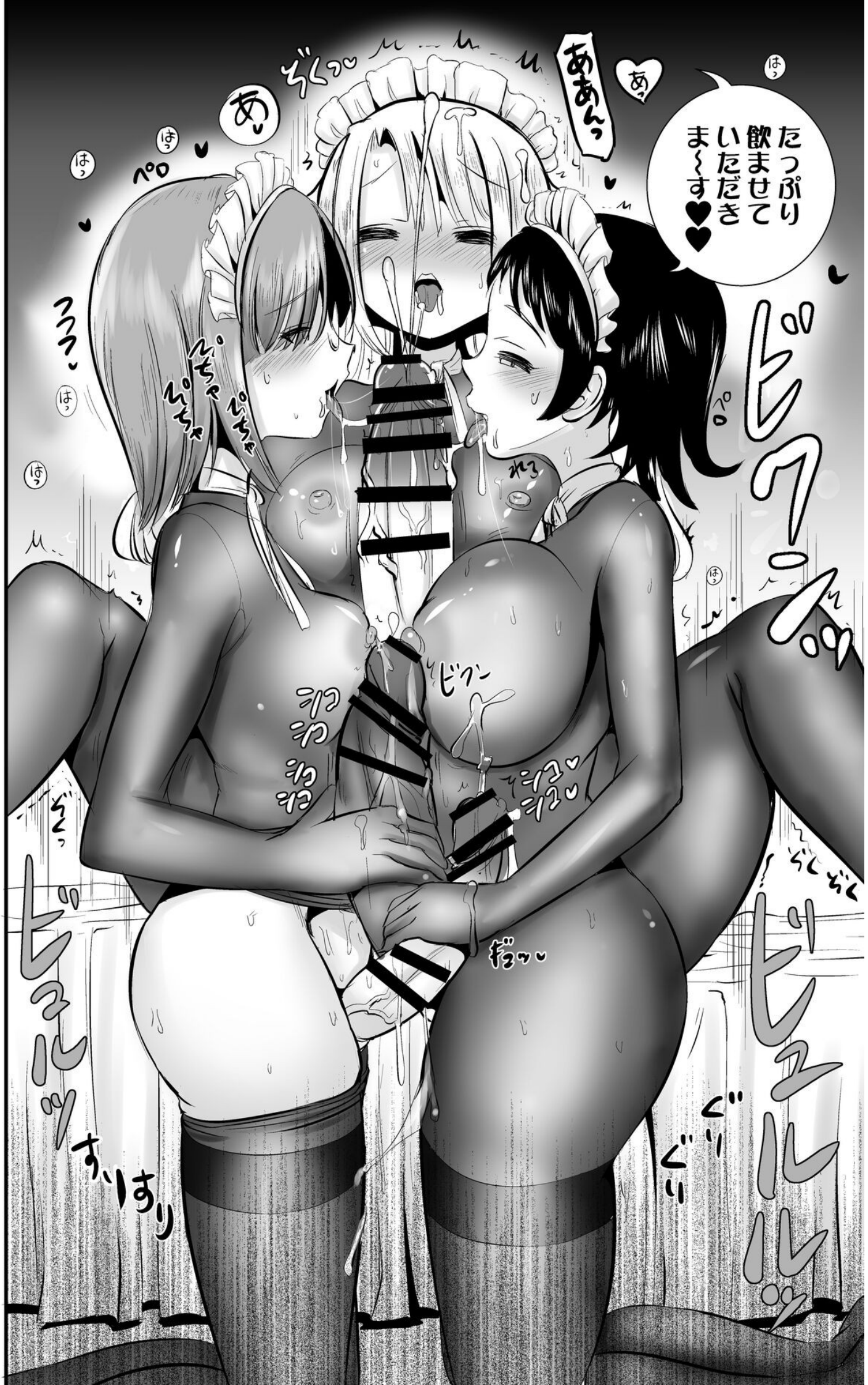
……え？

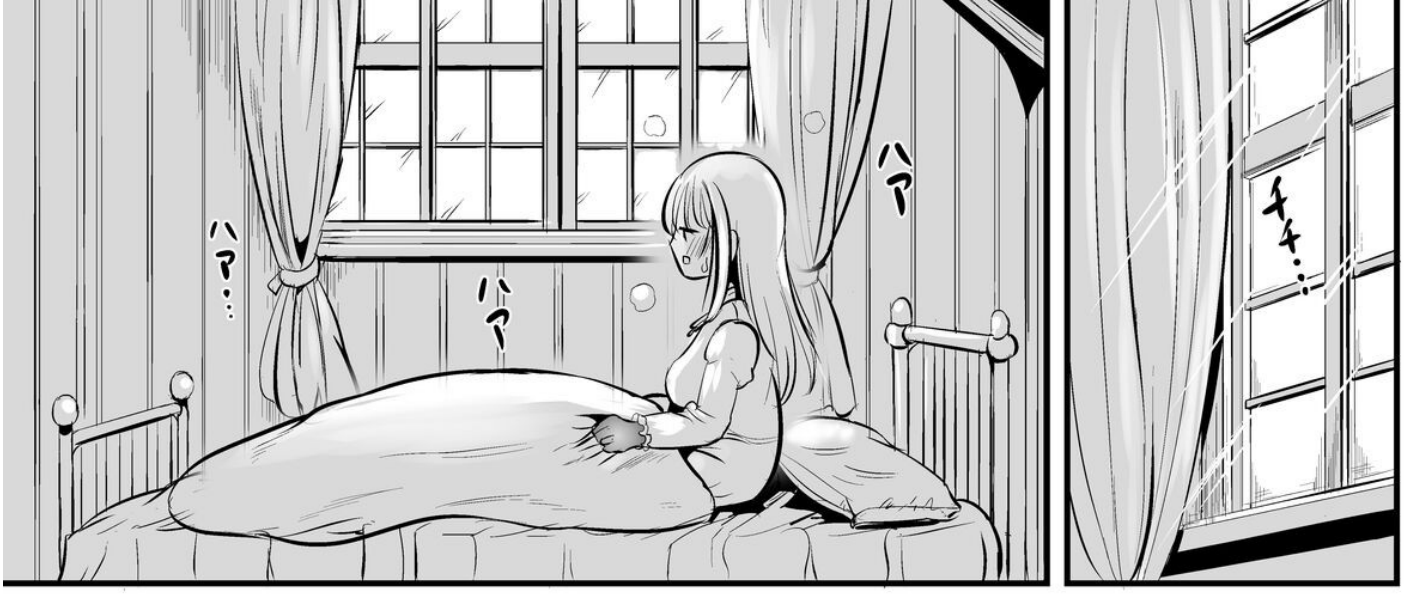

ピクン!!
ピュッ
ブルブル
ミチッ
なっ!?
ボタッ…
ボンッ
夜中に屋敷を徘徊なんて何ごとですか?
うふふ…わ…わかってますよこれが欲しかったのですよね…♡
ドキ
ドキ
ドキ
むぎゅ♥
わ…私のムレムレタイツ越しおちんぽを…
いいえ…私のタイツずらし生ちんぽこそお求めでしょう…♥
むぐぐっ
一週間タイツで寝かせたチンポ臭も直に味わえますし
けどやっぱり…

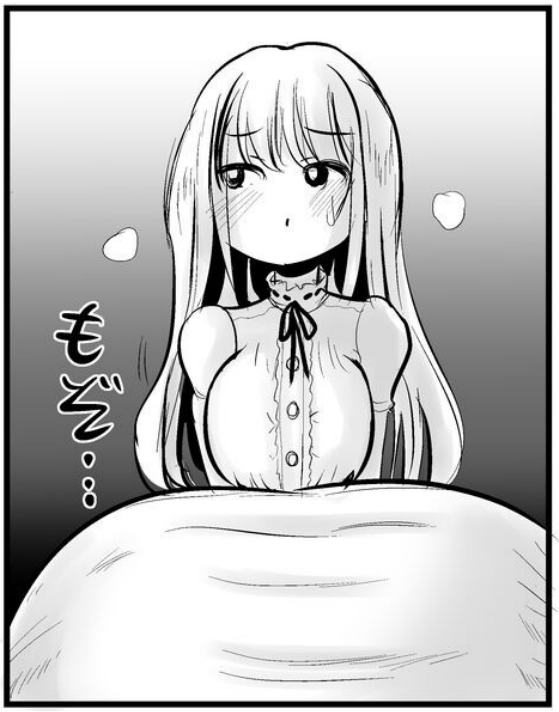

貴女のおちんぽにはかなわないわ…♡
嘘っ!?
ブルンッ!!
あぁ素敵…♥
ペロッ
ドキ
ドキ
ドキー
この芳しい匂い…女の子ちんぽの香りね…
ちゅっ
ちゅっ
ぺろ
ちゅっ
殿方の香ばしい雄の臭いとはまた違う…
い…一体何?
それでいて立派で硬い逞しいおちんぽ
ちゅっ
ぴくん
ぴくん
ちゅ〜っ
私…どうして今こんな…それより
ん
ら

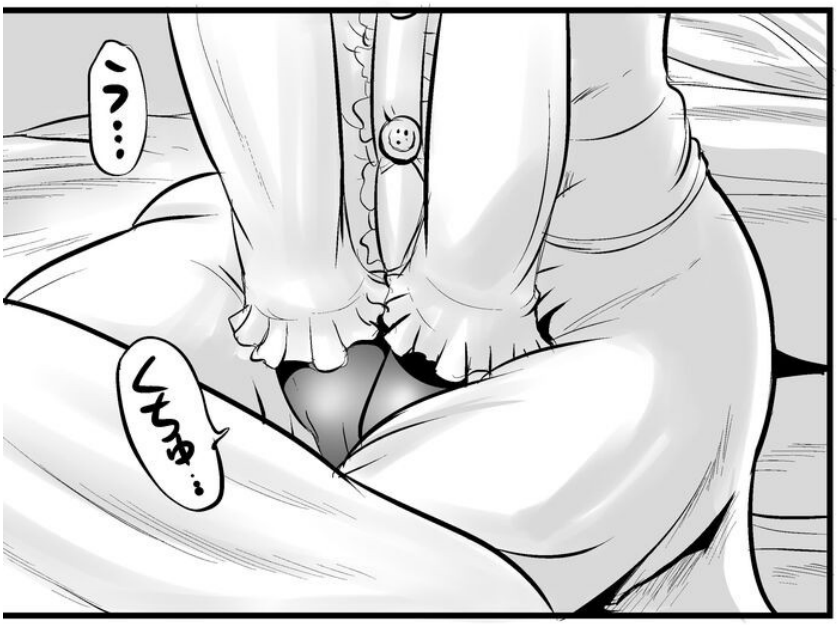

ストロベリィさん
今日はいつにもまして
熱々の勃起おちんぽ
ですね…♡
あっ♡
固くなった亀頭が
乳首にちょうどイイ
触れ心地です♡
プリムもメイド長も
生えてるのが
さも当然みたいに…
こんな事が
夜に行われて
いるの…？
さぞ夜を
待ちきれ
なかったの
ね
ふふ…この衣装じゃ
昼間から勃起してるの
バレバレよね♡


相変わらず
すぐに我慢汁
溢れるのですね♡
タイツ越しの
亀頭がぬるぬる
擦れて…
おちんぽが
激しく脈打って…
バキバキに
なってきました…♡
そろそろ
お射精タイム
みたいですね…♡
さ…我々は
お口を開けてっ…

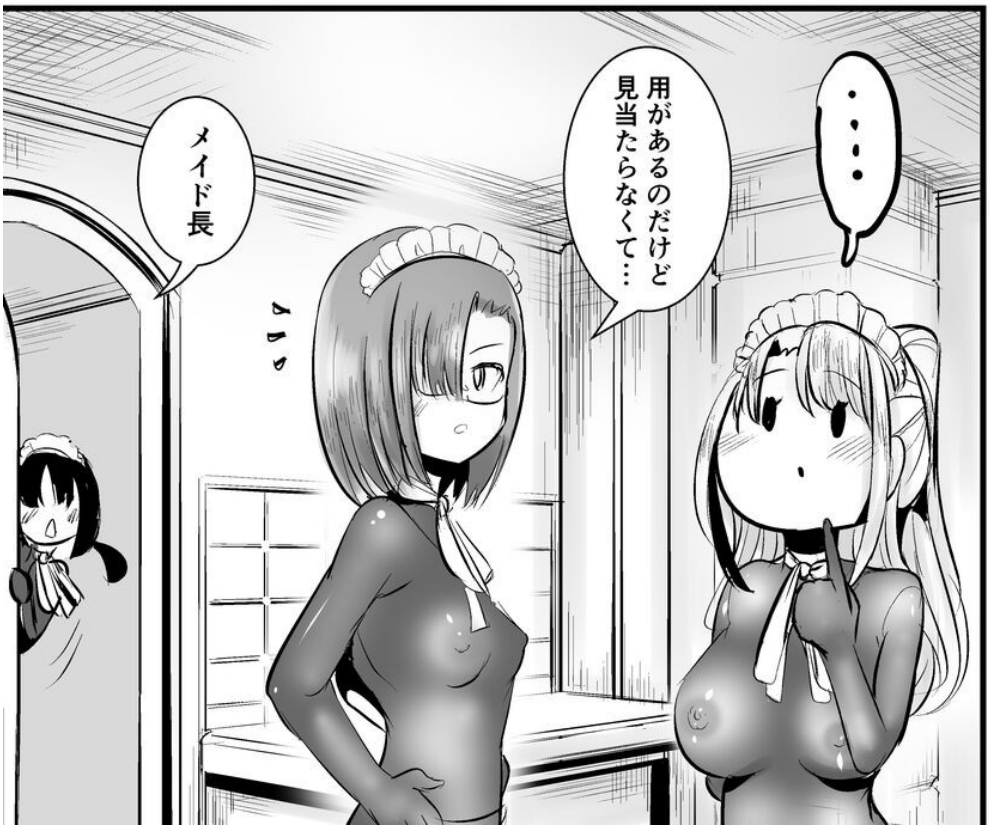

たっぷり飲ませていただきま～す♥♥
あぁんっ
あ
ぺろ
ぺちゃぺちゃ
ビクン
ビュルルルッ
ぐぐぐ
ビュルルッ
すりすり

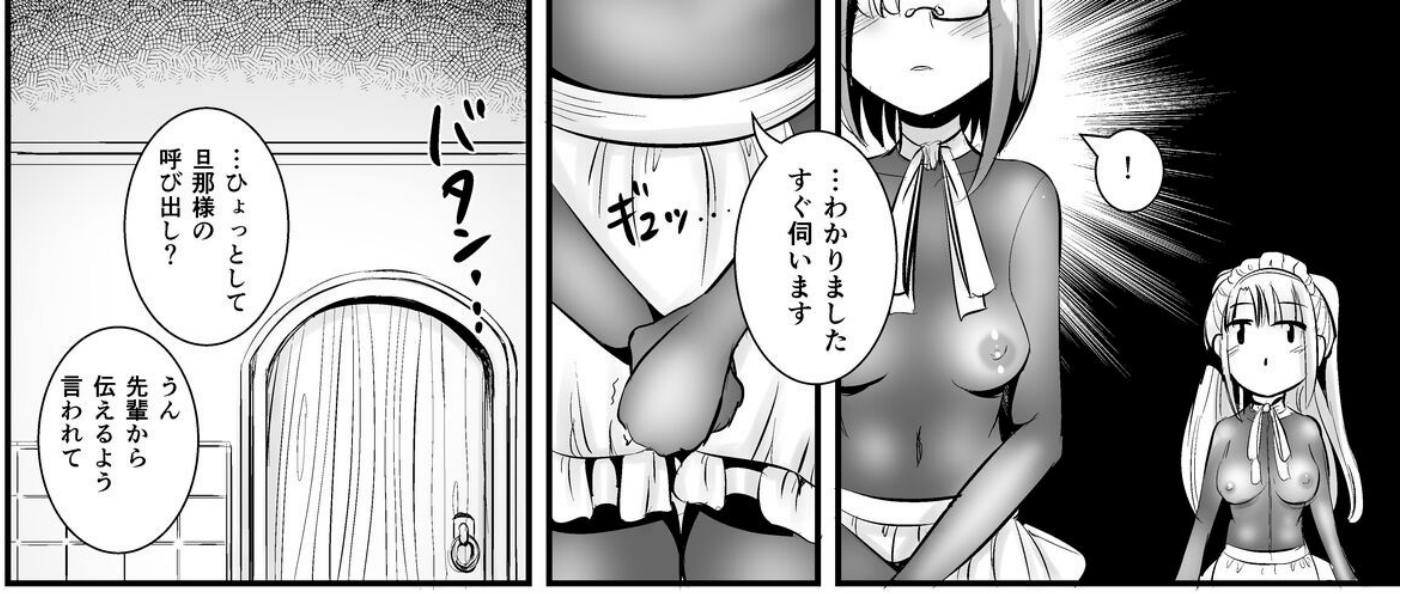

ハア
ハア…
ハア
チチ…

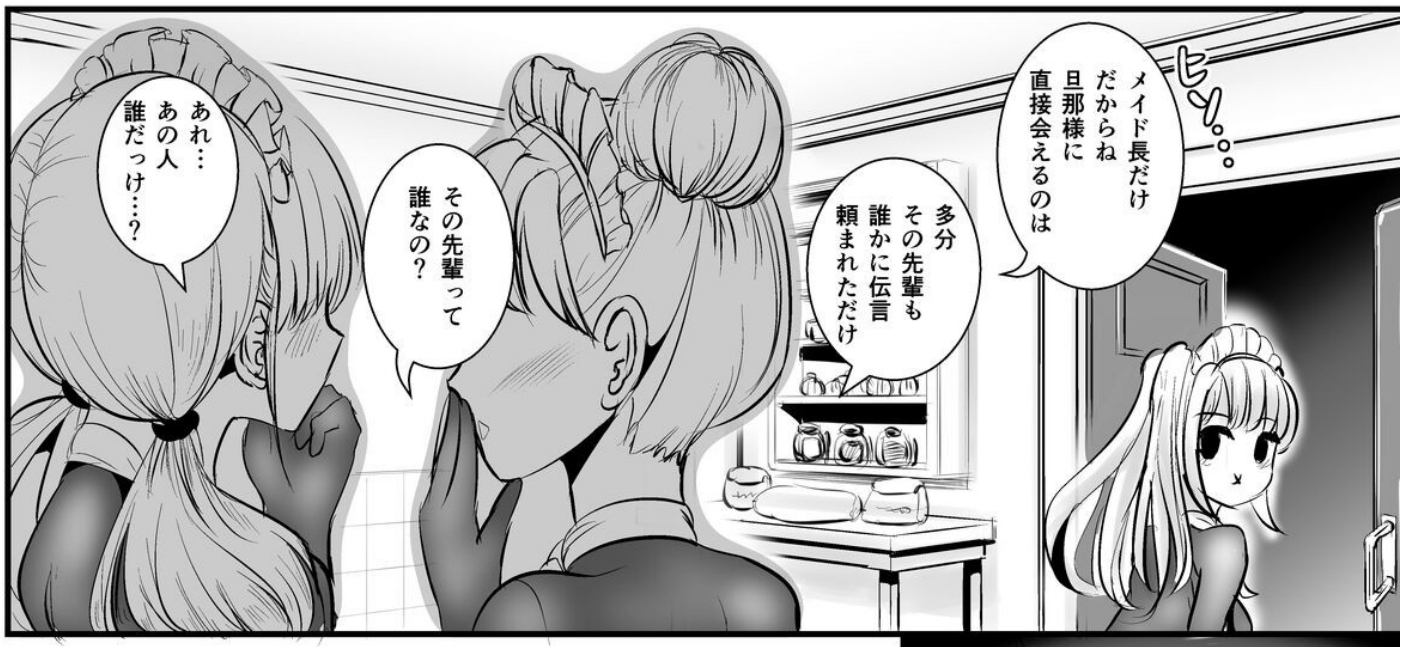

もぞ…

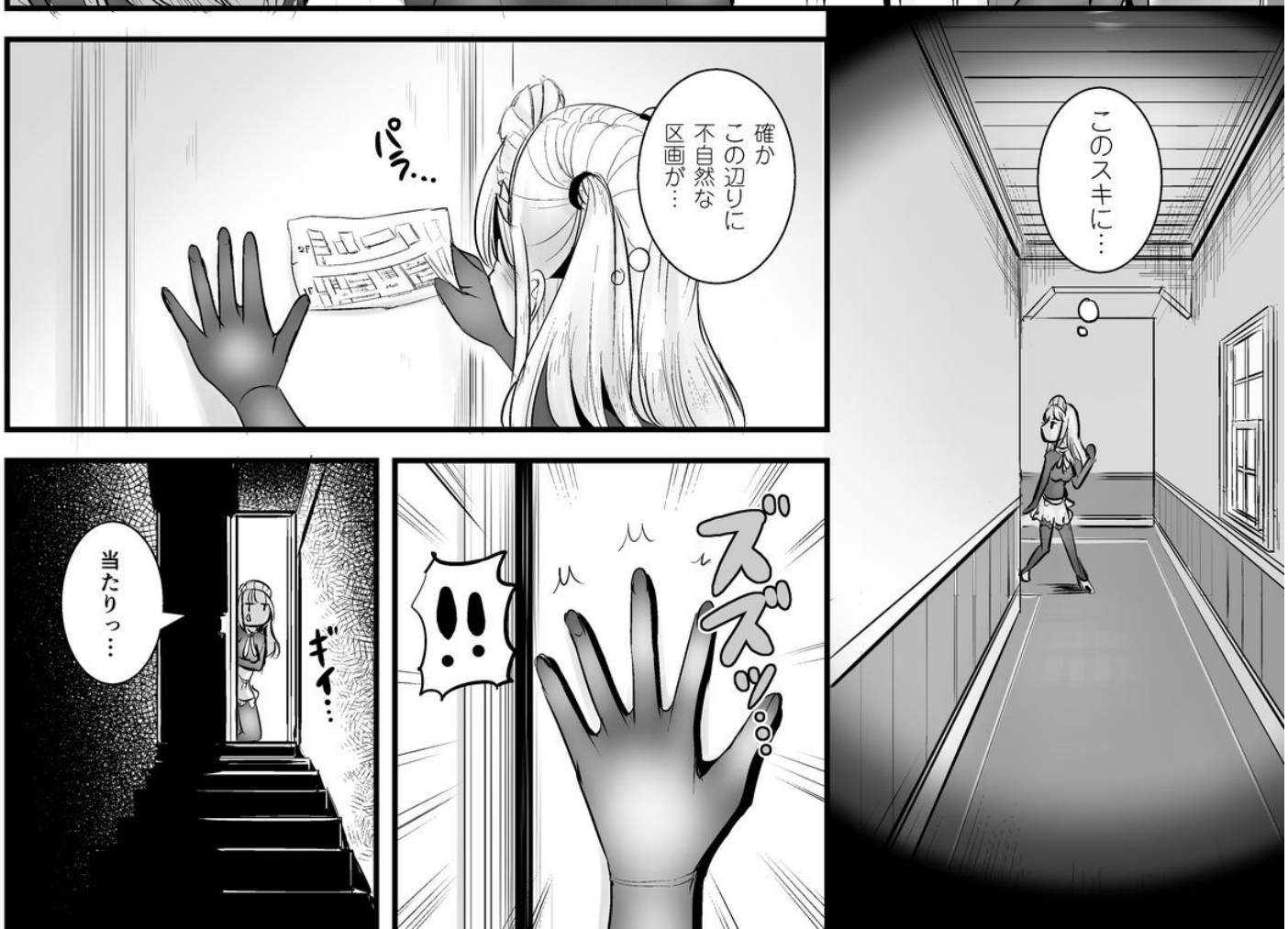

う…
くちゅ…

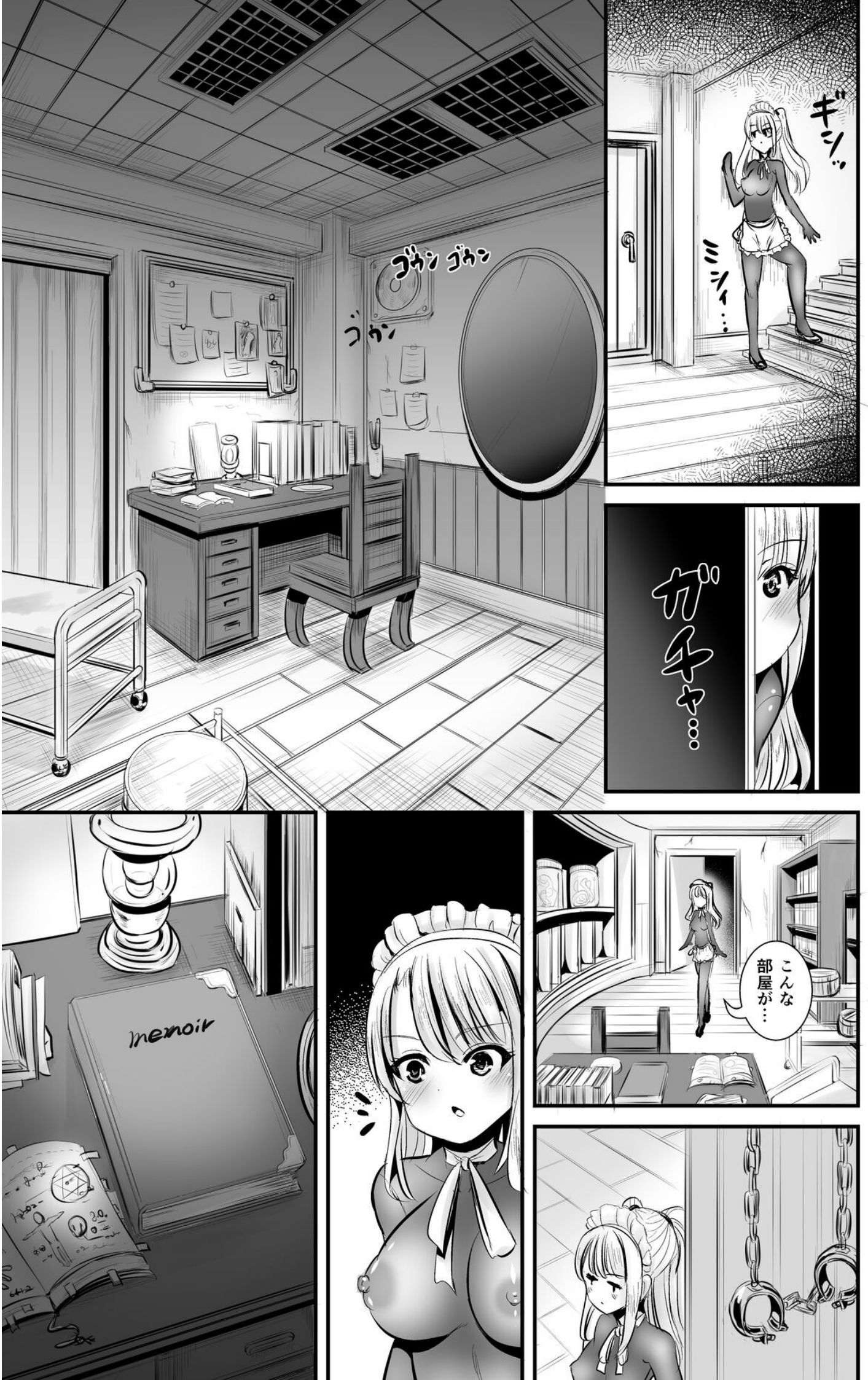

プリムがいない？


・・・
用があるのだけど見当たらなくて…
メイド長


！
…わかりました
すぐ伺います
ギュッ…
バタン…
…ひょっとして
旦那様の
呼び出し？
うん
先輩から
伝えるよう
言われて


メイド長だけ
だからね
旦那様に
直接会えるのは
ヒソ…
多分
その先輩も
誰かに伝言
頼まれただけ
その先輩って
誰なの？
あれ…
あの人
誰だっけ…？


このスキに…
確か
この辺りに
不自然な
区画が…
パラ…
ズズ…
!!
当たりっ…
ギィ…


ギシッ…
ミシィ…
ゴゥン ゴゥン
ゴゥン
ガチャ…
こんな部屋が…
memoir

◆月×日
「間者の錬金術」とある
胡散臭い古書を入手
ある薬剤の記述が
気になった為

対象に与えることで
皮膚(以下皮(スキン))をそっくり
そのまま分離できる
というもの
初めは理解が
追いつかなかったが…

驚くべきことに
皮は着用が可能で
元の人物になりすませる
ほどの再現性がある
謀(はかりごと)にはうってつけだ

×月△日
精製した薬剤をメイドで実験
皮の分離に成功するも
間もなく溶解してしまう
何とか安定出来ないものか―

△月■日
研究の結果
溶解の抑制には
意外にも
ナイロン素材が
有効のようだ

○月×日
薬剤とタイツの
組成に成功
浸透には長時間の着用が
必須

◇月○日
実験体不足
もっとメイドを
集めなければ

memoir

このタイツが…

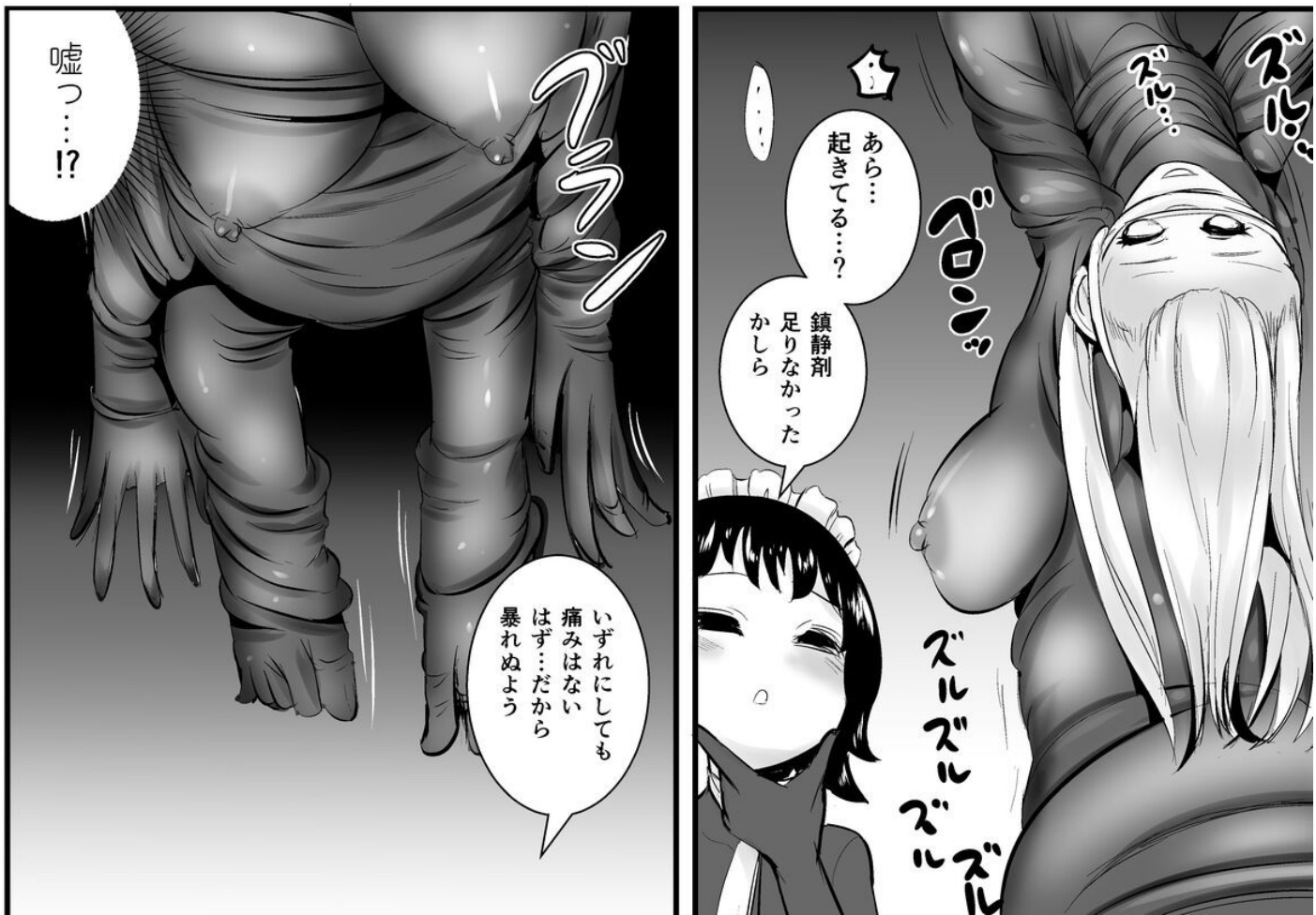
嘘…
まさか…

プスッ

ドサッ…


ん…
プリム…？
あれ…
身体が動かない…？
そろそろかしら…
ズル


ズルッ…
えっ…!?
ズル…
な…
なに……!?
ズル…
ズルッ
!?

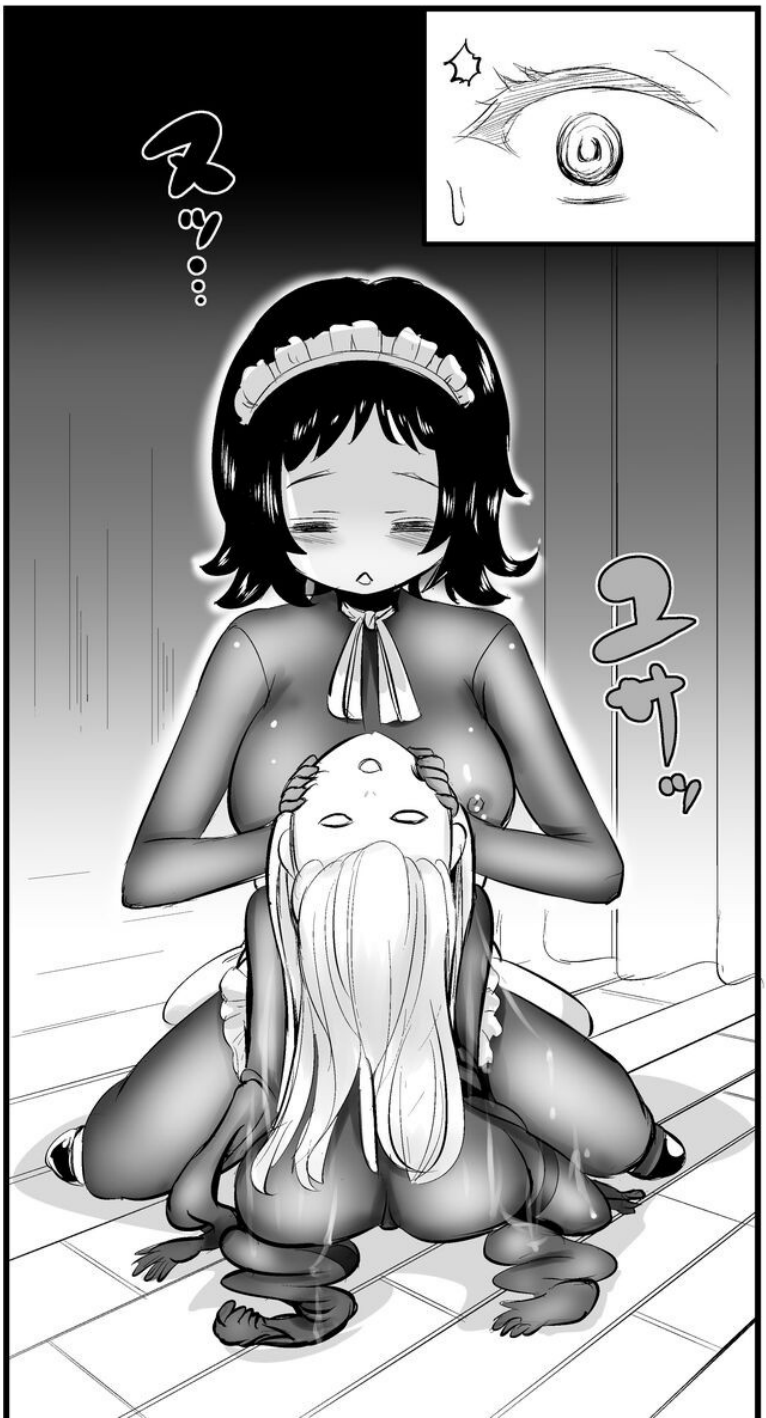

ズル…
ズル…
ボロンッ
あら…
起きてる…?
鎮静剤
足りなかった
かしら
ズルズルズル
ズル
ブラーン
嘘っ…!?
いずれにしても
痛みはない
はず…だから
暴れぬよう


あたしが脱げた……
ドサッ…


まだ温かい…
若くてきめ細かい肌触り…
ヌチャ…

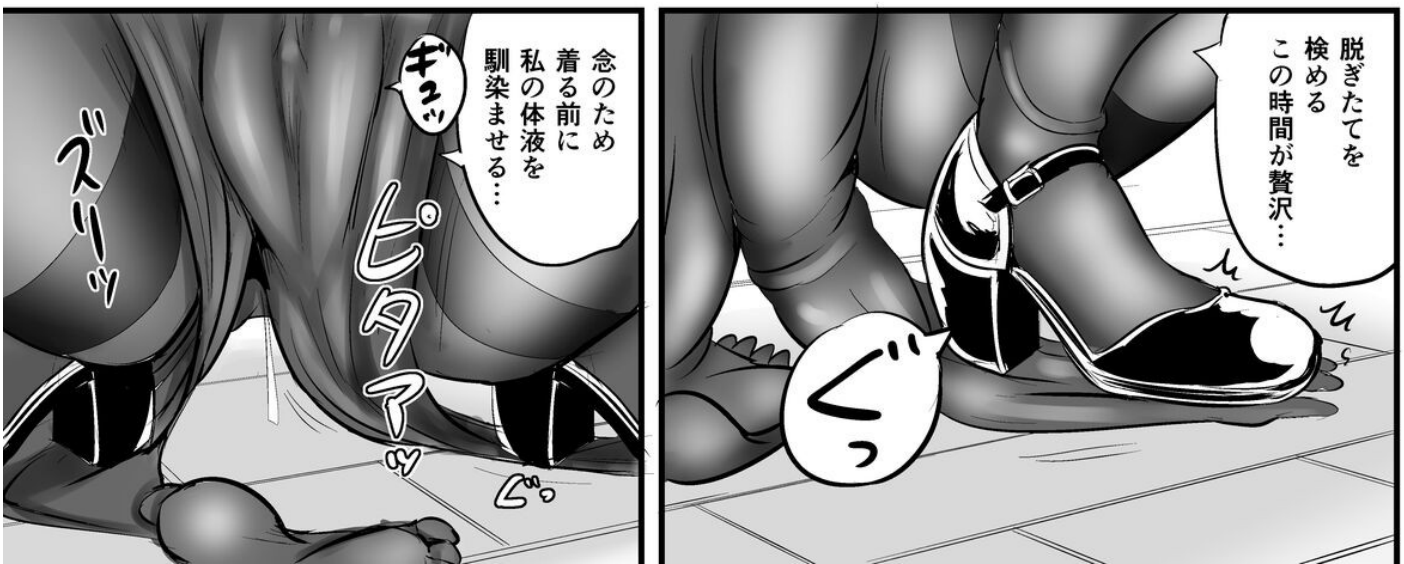

タイツで蒸れながらもクセのない汗臭…
普段食事を気遣ってる証拠…
クンクン


ペろ…


スゥ…
ユサッ


こりこりして瑞々しい乳首
ちゅぱ
れろ…
まだキレイな薄ピンク色
ドキ
はあ
キュン
キュン
れろお
はあ…
張りのある良いおっぱい…
ツンと上向いて形もきれい…♡
むにゅ
それに…
はっ
可愛いお顔…
はあっ
くいっ
れろ…


はっ
唇は
ぽってりして
柔らかい…
ちゅぱ
ドキ
れろ
ちゅぱ
何してるの…？
はっ
髪の毛は
栗色の美しい
ストレート…
はあ
ウラ…
はっ
ブラン
乳房は大きめ…
このカラダ程じゃ
ないけど肉付きが
良い方
ぐぢゅ
お尻も
やや大きめで
むっちりしてる
わね…


脱ぎたてを
検める
この時間が贅沢…
ぐっ
念のため
着る前に
私の体液を
馴染ませる…
ギュッ
ピタァッ
ズリッ

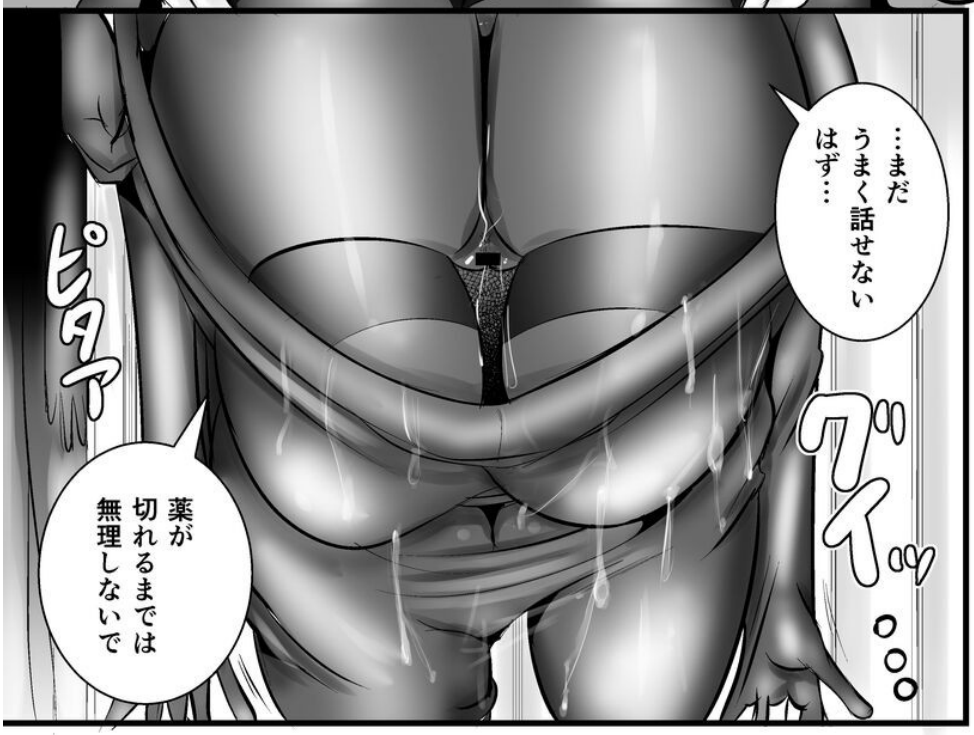

んっ…♡
クリトリスの
弾力もばっちり…♡
愛液をたっぷり
ぐちゅぐちゅ
音がするほど
おまんこを
濡らしたら…
なるべく
染み渡るように
擦り付けて…


あとで
着やすいように
よーく伸ばして…
少し
おまんこ臭く
なってしまう
けど…♡
あ…♡
気持ち良く
なって
きちゃった…♡


着る時の
ローション
代わりにも
なるわね♡
いったい
何してるの…？


せっかくのレア物なんだから活性化は慎重に行わないと…
ああ…もう着てしまおうかしら…
…!?
ぬるっ
ドキ
ドキ
ドキ
はあ
はあ
はあ
はあ
ベトッ

いけない…あまり刺激したら…
キュン
キュン
ペロン


…まだうまく話せないはず…
薬が切れるまでは無理しないで
ピタァ
グイッ


…めて…


そ…は私の…
返し…


あなたは…「プリム」じゃないっ…


きっと
その顔も嘘…
今
みたいに…
…
ふふ…
やっぱり
他人に
なりすますのは
簡単じゃないわね
そう…
この娘も
昨晩脱ぎたて
ほやほや…♥
ぷらあ♪
少々予定より
早まって
しまったけど
ああ見えて
勘が良いから
仕方無く…ね
その上貴女まで
こんな所で
コソコソと…
なるべく
資源は大切に
使いたいのに
ヴイッ
ムチッ
ギチッ…
「重ね着」は
負担が
かかるから…
ぐっぐっ
ギュー…ッ


ふふ…
2カップほど
大きくなった…
男好みの
おっぱい♡
いやらしい…
プリムより
一層むちむち
ボディね…
余裕で
舌が届いちゃう
程の巨乳…♥
まるで
下衆の
目つき…
こんなの
私じゃ
ない…っ


…さっさと私のことも
始末すればいい
プリムのように…
…何か
勘違いしてる
ようだけど
貴女を傷付ける
つもりは無いし…
彼女も元気よ
ほら
ずっと
貴女の隣に―
え…


な…
「プリムがプリムでいる為のもの」は私が着てる
貴女からもらったように
貴女からもらった皮の下に…


大丈夫直に目も覚ますわ
今の貴女と同じくただ虚ろ…空っぽなだけ


あなた…やはり館(ここ)の…


さあ…どうだったかしら…
様々な娘を着ては彼女達の記憶に浸りなりかわりを繰り返してきたから


ただ…
一つ心残りが
あった
女の皮との
相性が悪く
脱ぎ捨てたもの…
ん…
クンクン
キュン
トロ…
キュン
懐かしい…
蘇るこの
感覚
ふたなり娘は
伝説に過ぎないと
思っていたから
この皮は
思わぬ拾い物
なのよ…
はあ
ドキ
これだけの
むちむちボディに
立派なおちんぽを
隠れているなんてね
勃起を抑えるのが
大変だったでしょう
やだっ!?
ビクン
シコ
油断すると
こうして
顔を出して
しまうものね


興奮と共に
血が巡り
固さが漲り
反り返って
別の生き物の
ように
スケベ穴を求めて
鎌を擡げるの
この感覚は
おちんぽでしか
得られない…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
はあ
はあ
はあ
はあ
ドクン
ピクン
ピクン
ぞくっ
ぞくっ
ねぇ…
そのままでは
寒いでしょう…
シャッ
私のコレクションを
着せてあげるわ…
…っ!?
そして
温め合い
ましょうよ…♡

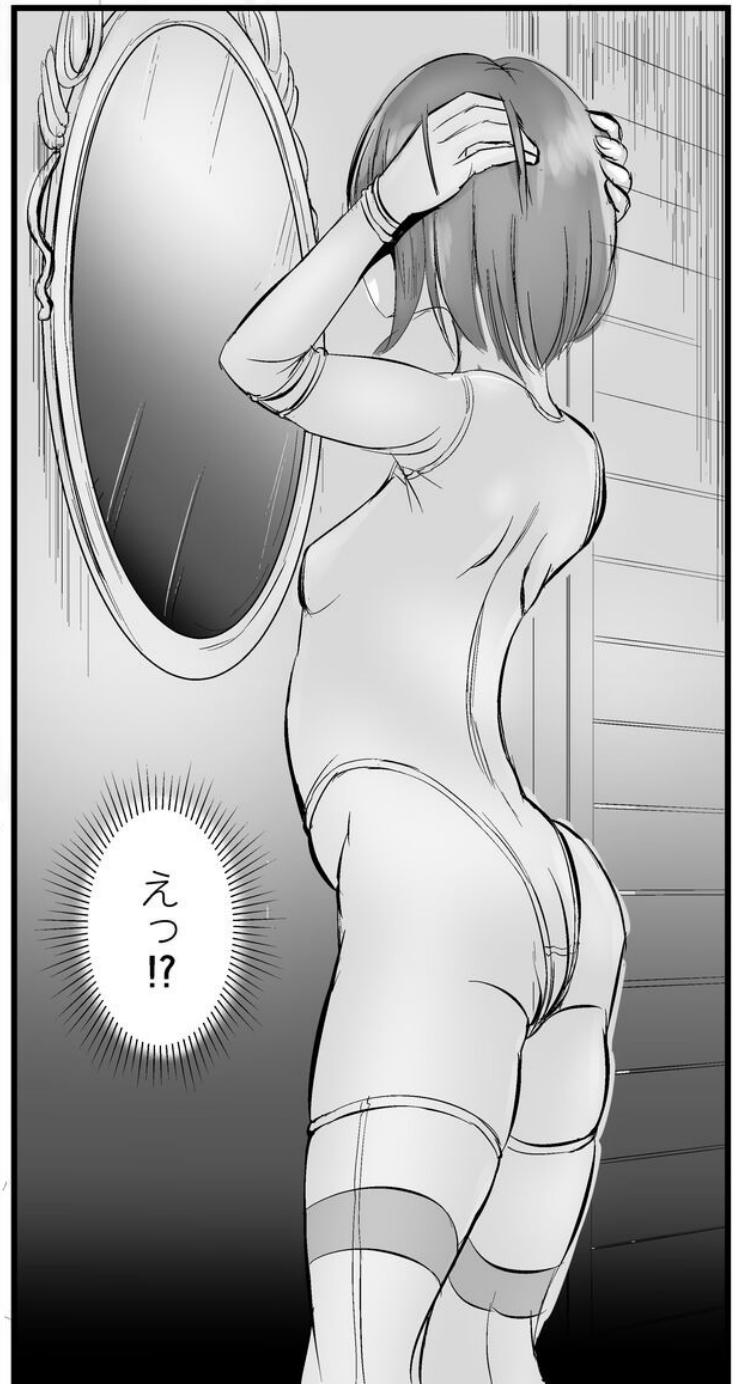

一度でいいから
ふたなりセックス
してみたいの…
相手して
くれたら
貴女の皮は
返すわ
ハア
ハア
ブラン
私に
選択の余地は
無い―
だからお願い
これを着て…


ベテラン(そ れ)だけに
少々
くたびれても
いるけど


この皮は
とても長く
仕えてくれた
メイドの皮
お気に入りの
衣装は
剥がした時に
定着済み

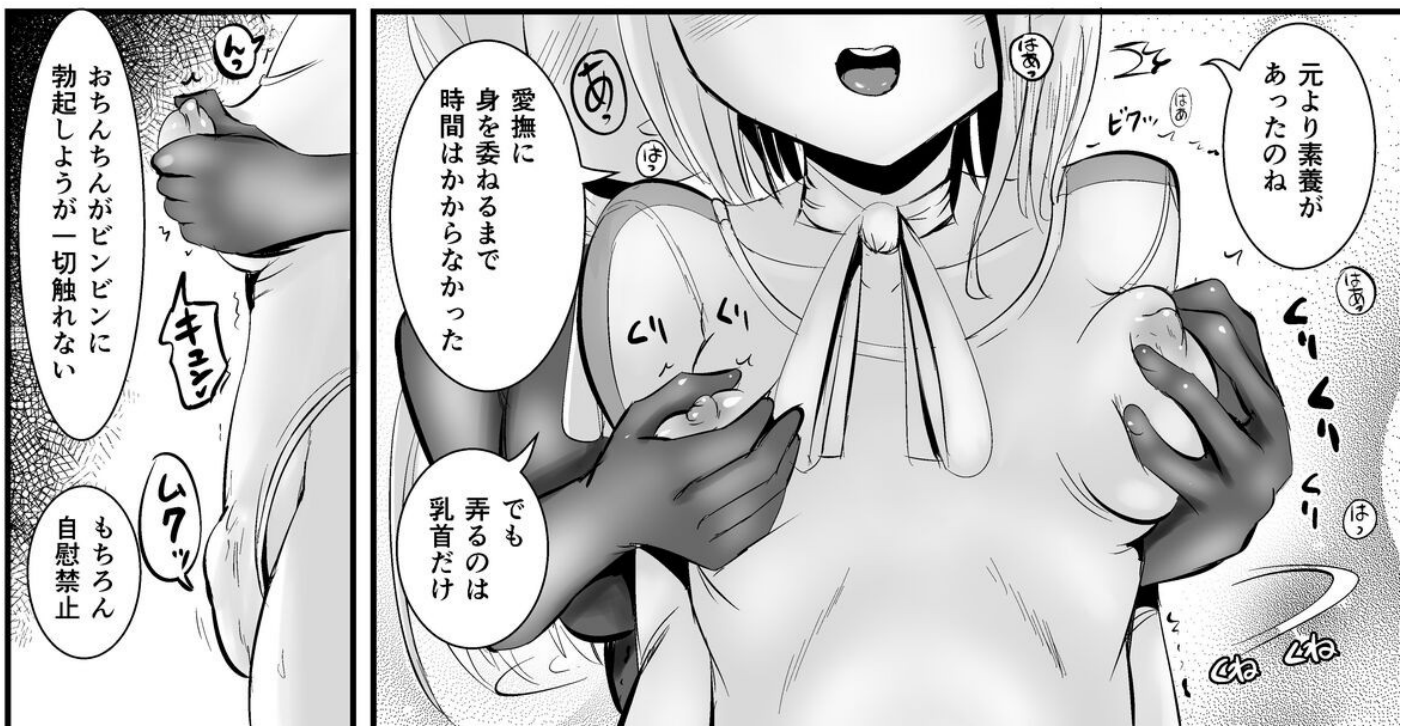

グッ
グッ
貴女には
よく馴染む
はず…

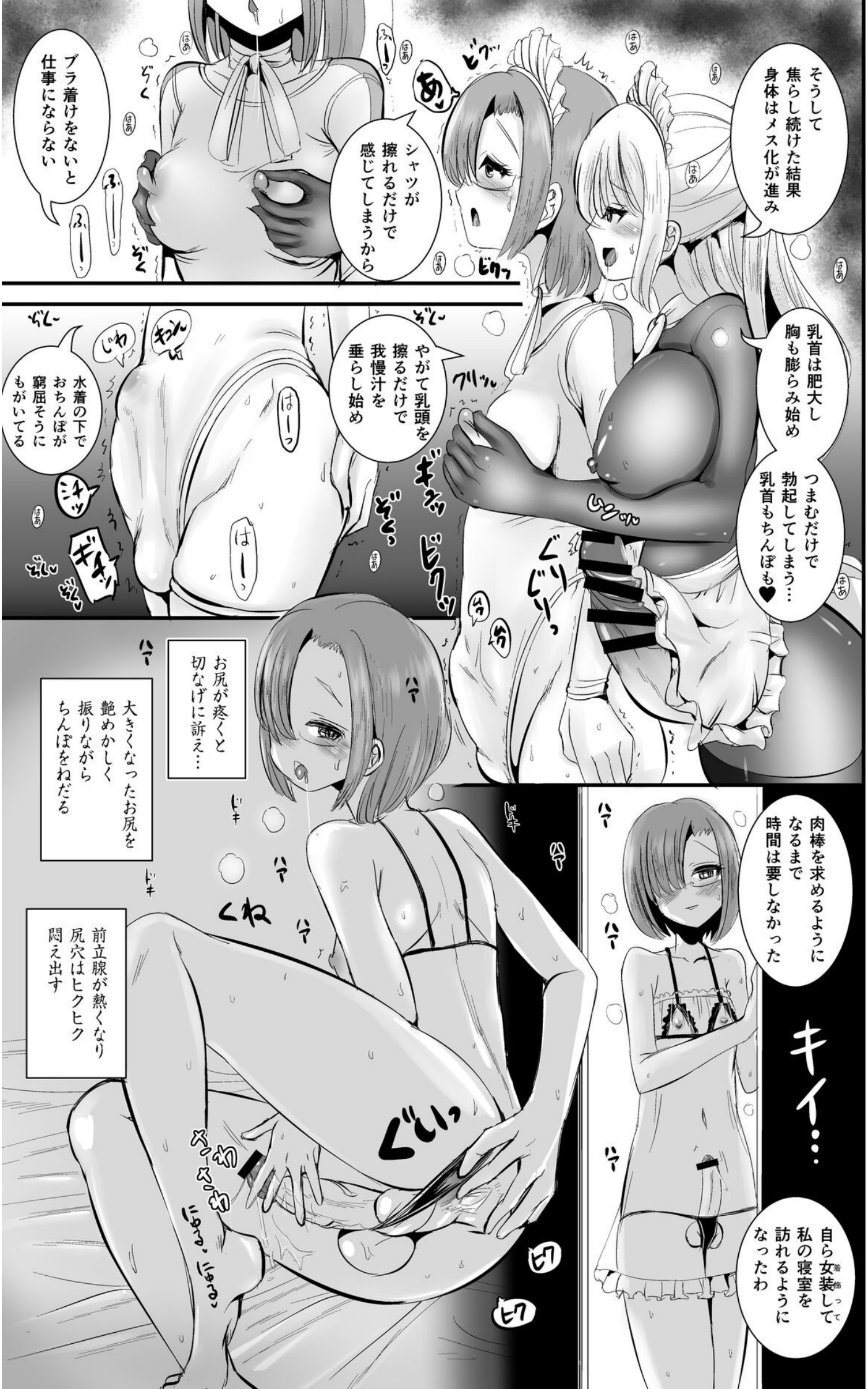

メイド長…?


えっ!?


でも
これは…
「彼女」が
ここへ来たのは
とても昔…
モコ…


うぅん…
その頃はまだ
「彼」ね
女装に
慣れてきたら
その格好で
奉仕をさせる
執事として
ここに来た時から
「匂い」を感じたわ
戯れに
メイド服を
着せて確信した
肩揉み…
耳かき
体洗い…
だんだん
ボディタッチに
慣れさせて…
スリスリ
旦那様
くすぐったい
ですっ…
たっぷりと
時間をかけて
仕込んだの


元より素養が
あったのね
愛撫に
身を委ねるまで
時間はかからなかった
でも
弄るのは
乳首だけ
おちんちんがビンビンに
勃起しようが一切触れない
もちろん
自慰禁止


そうして
焦らし続けた結果
身体はメス化が進み
乳首は肥大し
胸も膨らみ始め
つまむだけで
勃起してしまう…
乳首もちんぽも♥
やがて乳頭を
擦るだけで
我慢汁を
垂らし始め
水着の下で
おちんぽが
窮屈そうに
もがいてる
シャツが
擦れるだけで
感じてしまうから
ブラ着けをないと
仕事にならない
お尻が疼くと
切なげに訴え…
大きくなったお尻を
艶めかしく
振りながら
ちんぽをねだる
前立腺が熱くなり
尻穴はヒクヒク
悶え出す
肉棒を求めるように
なるまで
時間は要しなかった
キイ…
自ら女装して
私の寝室を
訪れるように
なったわ


かつての私の雄臭チンポを物欲しそうに涎を垂らす
勃起とお尻の疼きが止まらないのに
自慰禁止だから女々しく太ももをまさぐるしか出来ない
私が許すや否や齧り付くように咥えると
愛おしそうに頬張り舌を這わせ味わう
普段は控えめなおちんちんも勃起の時はズルムケ暴発寸前
頭の中はおちんぽのことでいっぱい
アナル処女の頃は蕾のようだったお尻の穴も
何度も女の子のように犯され縦に拡がり続け
まっすぐ割れて…めくれたヒダが小陰唇みたいで完全にマンコ♥
オスマンコに雄チンポがキスした瞬間歓喜のメス声が漏れる

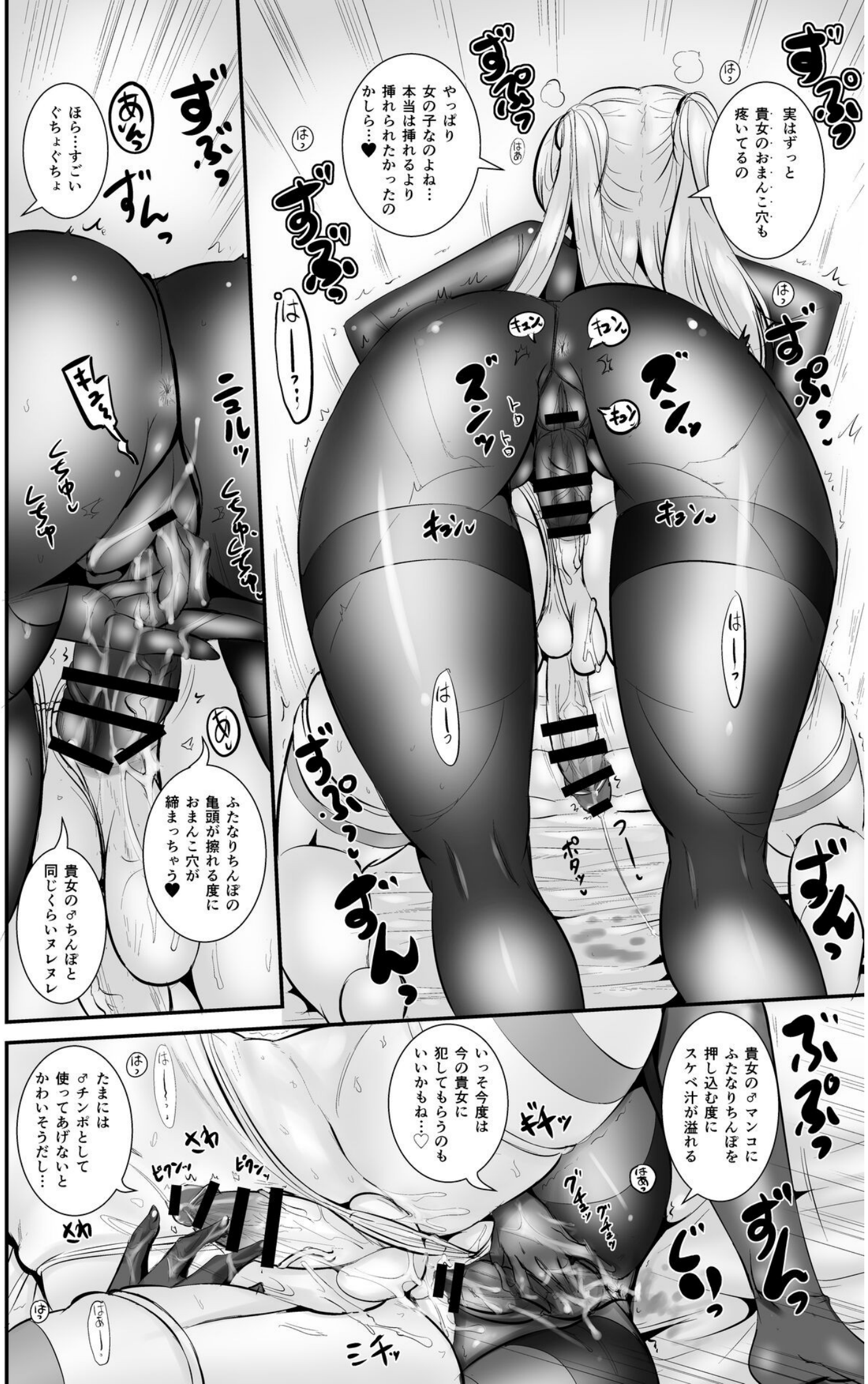

アナル全体で
おちんぽを
締め上げ
窮屈な快感を貪る
メイド長(あの子)の
記憶が
皮を伝って
入ってくる
でしょ…
生真面目な執事が
発情メス穴
おちんぽメイドに
なるまでの日々…
お腹の中で
雄チンポが動く度に
悩ましいメス声で
喘ぐ
お尻を犯されるのに
もはや戸惑いも
恥辱も無い
チンポに
身体を委ね
悦びを知ったら
堕ちるだけ
オスマンコが
おちんぽと溶け合い
乳首が痺れる
女の子以上に
全身性感帯の
メスボディ
♂マンコを
ゆっくりと
出入りする♀ちんぽ
ただの飾りとなった
♂ちんぽを揺らしながら
いやらしく
腰をくねらせる


恥じらいもなく
おねだりするように
尻穴をおちんぽに
押し付けてる
もっと深く
オスマンコの
敏感な場所に
当たるように
その度に
お気に入りの
キツキツレオタードに
我慢汁が染み渡る
ここを
擦られるのが
お気に入り
だったわね
あぁ…♡
この締りと感触
まさに彼女の
けつまんこ…
再びちんぽで
味わえる喜び…♡
何度も
上へ向かって
お尻を
突き出すの
勝手に腰が
くねくね
動くでしょ♥
ちんぽから
ねっとりした
汁を垂らしつつ…
おちんぽが
挿さって
いなかったら
尻マンコ丸見え
だったはず


そういえば昨晩の貴女は激しく勃起していたわね
シーツの上からでもわかる程に大きくさせて…
ズプッ
ヌプッ
はあ
ドスケベな夢でも見ていたのかしらフフッ
あ〜あ
パンッパンッパンッ
ヌプッヌプッ
フフ…そうよ貴女の寝ている隣でセックスしていたの
嘘っ…
あっ
はーっ
ズプッズンッズプッ
ビクン
ビクッ
もぞ…
あの子お気に入りのペニバンでー
ギュッ
プリムの皮を着ていたから
結構激しく腰を打ち付けていたのに起きなくて
疲れて熟睡しているのと思ったら
ジンッ
ヌプッ
ズンッ
シーツの下でギンギンにおっ勃ってるのですもの
むずむず
はあ…
ん…
ピクン
よほど素敵な夢だったのかしら
カマ…
パンッ
あ〜
ジンッ
ヌプッ
あ
あら♥勃起のあまりこんにちは♥
こっちのおちんぽの具合はどうかしら♥
ビクッ
ズンッズンッ
ニュプッグチュッ
はっ


はぁ!?
図星のようねっ…
ビクビクッ
グリッ
グリッ
ビンッ
ギンッ
はぁっ
キュウ〜
ち…違…
性欲を持て余すあまり昨日見た淫らな夢を思い出して
他人の皮を被っても淫乱ちんぽは変わらないようね♡
そろそろ認めてもいいんじゃなくって?
ずっと自分のドスケベボディに犯されたかったって…
ズンッ
♂まんこでよがりながら♂ちんぽも勃起させてるはしたないメイド…♥
ぐにぐに
ピクンッ
ニュプッ
ズブッ
ズルゥッ
ぞくっ
ぞくっ
ぐんぐ〜っ


ズプッ
ズンッ
あらぁ…
おちんちんから
潮吹いてるの？
お尻を
自分のおちんぽで
突かれて…
シコられてる
わけでもないのに
ぴゅっぴゅ
しちゃってっ♡
ちゅっ
ちゅ～
ぴくんっ
さわ
さわ
ぷしゅっ
ぴゅっ
ズンッ
やだ
またチンポ
噴いてるわ
プシャッ
さわ
さわ
ぴゅっ
扱いてないのに
♂マンコ挿れられてる
だけなのに…♥
ちんぽが
嬉しくて泣いてる
みたい♥
ズブッ
ズブッ
貴女の記憶が
皮から聞こえる…
淋しい時は
おちんぽ弄り…
ムラムラしたら
ついシコシコ
してしまう…
や…
やめて…
カマ
カマ
ヒン
ヒン
ヒン
仕事に追われて
女の子セックス
する機会にも
恵まれず―
ついに今日
処女を捨てられて
良かったわね
ピクン
にゅる
にゅる
キュン
キュン
貴女自身の
おちんぽで…
♂マンコだけど…♥
あ～っ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ


ずぷっ
実はずっと貴女のおまんこ穴も疼いてるの
ずぷっ
やっぱり女の子なのよね…本当は挿れるより挿れられたかったのかしら…♥
ずぶっ
はーーっ…
ずぶっ
あんっ
ずんっ
ほら…すごいぐちょぐちょ
ニュルッ
くちゅくちゅ
キュンッ
キュンッ
ズンッ
トロトロ
キュンッ
キュンッ
はーーっ
はーーっ
ずぷっ
ずんっ
ポタッ…
ふたなりちんぽの亀頭が擦れる度におまんこ穴が締まっちゃう♥
貴女の♂ちんぽと同じくらいヌレヌレ
ぶぷっ
ずんっ
ぐいっ
貴女の♂マンコにふたなりちんぽを押し込む度にスケベ汁が溢れる
いっそ今度は今の貴女に犯してもらうのもいいかもね…♡
ギチッ
グチュッ
グチュッ
ピクンッ
ピクンッ
たまには♂チンポとして使ってあげないとかわいそうだし…
ニチッ


♂マンコセックスでレオタードの下の乳首はビンビンに勃ちっぱなし
はぁん…♡ やっぱりふたなりボディは素敵ね♥
メスの快感で萎れてたよわよわちんぽが軽く擦るだけでビンビンにそそり勃つ
まんこもちんぽもスケベ汁が止まらない♥
メス化スイッチが加速しまた一回り乳が膨らむ
貴女のまんこのスケベ汁で♂ちんぽがぬるぬる♥
そのくせシコられるとちゃっかり♂ちんぽをガチガチに勃起させる
恥じらいもなく竿を反らせて射精を慕らせる
はぁ…♡ そろそろ射精そう…♡ 貴女はどっちでイキたい？
そう… 両方ねっ…
……っ
何…？ 聞こえない
ずぶっ
ずぶぶっ
ずんっ
パンッ
パンッ
パンッ
ぐぷっ
にゅぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐ

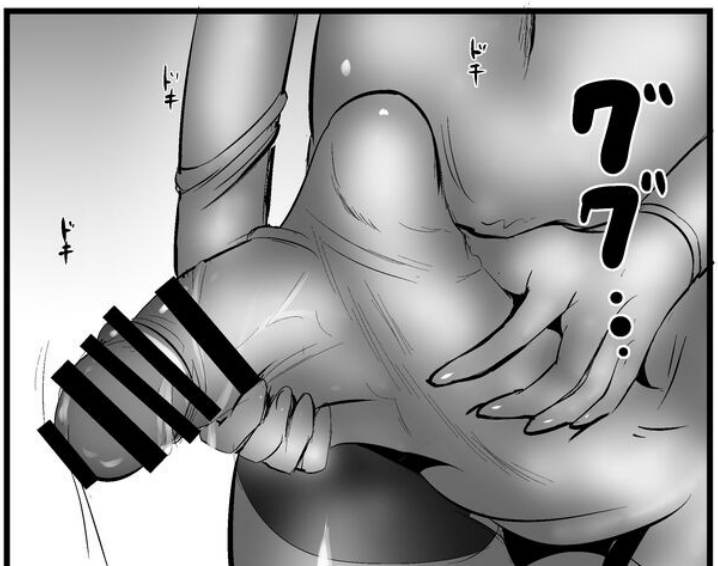

自分のおちんぽでイキなさいっ!!
ビクンッ
ビクッ
あっ
はっ
はぁ
あぁっ
ズブブブブ
ビュルッ
ニュルルッ
ギュ〜〜ッ
ビクンッ
ビュルッ
ビクッ

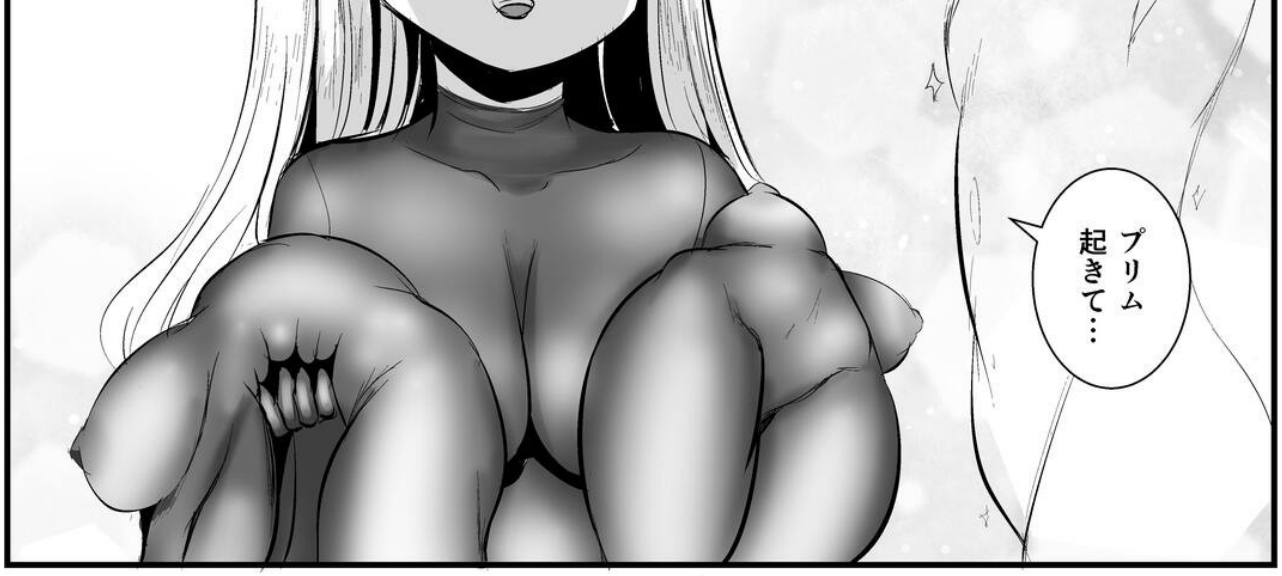

私の姿を奪った
何者かは
跡形も無く
消えていた
彼の言っていた
重ね着を繰り返した故の
代償なのか


グイ・・・


或いは
私の身体が
馴染まな
かったのか…
残ったのは私と…
夥しい重ね着の
抜け殻
ズル・・・


ドキ
ドキ
はあ
ドクッ
ドクッ
ドキ
はあ


ドキ
ドキ
ドキ
グ・・・



Thank you

サポーターの皆様

（2022年12月時点でステータスが支援中の方。継続期間順、敬称略）

LORD OF NEKO

FANBOX

pchewt　nesae77　Kyonko-chan　fire-77　銀音　とき号
larken999　あきねる　Dlee138　スレントス　あのけもの
tashiro149　呆呆醬　amuro　erraticism

円卓のねこ

Ci-en

blackflower　NO_NAME　んぎょぺ　yty656　色水河膏十多　響　南々かなん
わったぁ　キノキング

FANBOX

eighth　マーメイ高坂　マスカレード　无名　sumomotarou　李華　xilkx　Shiho
ひろポン　omegaPi　kazunori14　hello86yan　pizza　篠月まな　スコッチ　Sycosis
ゆう　ミットナイト　ネス　☆レイン　jamontoasty　Nagao　Xzomega　夜神悠斗
LLENN　ぬっる　ploria　サブ皮サブ郎　hiziri116_1010t　muterLOG　WhiteAla
イエローバード　いんたーばる　びー　RED　zx14.bp5.2.4　元首的紅藍鉛筆
七月うなぎ　nonhuman

いつも本当にありがとうございます。
皆様のお陰で自由な創作に打ち込むことが出来ております。

まる寝子

L. P. E. G.

私は誰かの被りもの

奥付

発行日	2022.12.31（コミックマーケット101）
著者	まる寝子
発行	L. P. E. G. (http://mekloli.rdy.jp/mt/)
連絡先	mar@mekloli.rdy.jp
印刷	㈱インサイド

Twitter@marneko

Pixiv@marneko

★本書の未成年への販売、配布を禁じます。無断複製、違法アップロードもダメです。
悪質な場合はサーバー会社への通報及びプロバイダへの情報開示請求等の対応を行います。

No part of this publication may be lent, resold, reproduced, scanned, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means without the prior written permission of the author, nor be otherwise circulated in any form of editing, binding or cover other than that in which it is published and without a similar condition being imposed on the subsequent purchaser.

禁止私自轉載、加工

복제 금지.